

	チェック項目	評価				質問・意見・今後の課題	アンケート結果をふまえた 今後の目標
		はい	どちら とも いえない	いいえ	わから ない		
環境・ 体制 整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	2	0	0		活動スペースを確保し、工夫しながら活動していく。
	② 職員の配置数は適切であるか	3	4	0	0		適切である。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	2	1	2	1		安全に配慮していく。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	4	3	0	0		環境衛生に配慮しながら、心地よく生活できる環境にしていく。
業務 改善	⑤ 業務改善を進めるための PDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	0	1	2	4		PDCAサイクルへの理解を深め、全職員が参画できるようにする。
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	1	0	0	6		ミーティングでの共通理解を大切にし、業務改善を図っていく。
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	2	0	0	5		事業所便りやホームページに関心をもち、積極的に閲覧できるように促す。
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	0	0	7		各評価を受け、改善の内容を把握しながら、業務を実施するようにする。
適切 な支 援の 提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	2	2	0	3		評価結果を基に、業務改善を図る。面談等を大切にし、子どもと保護者のニーズに合わせて支援計画を改善していく。
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	1	0	1	5		アセスメントツールについての理解を深め活用できるようにする。
	⑪ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	1	2	0	4		具体的な支援内容を共有し、支援につなげていく。
	⑫ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	1	3	0	3		支援計画に沿った支援を継続していく。
	⑬ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	2	3	0	2		今後も全員で関わりながら実施していく。
	⑭ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	1	2	2	2		活動プログラムが固定化しないように見直す時期を定めていく。
	⑮ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	2	1	0	4		今後も子どもの実態を把握し、支援計画を改善していく。
	⑯ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	0	1	1		今後もミーティングの時間を活用し、共通理解の上支援していく。
	⑰ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	2	2	1	2		短時間でも振り返りをとり、次の支援につなげていく。
関 係機 関 や保 護者 との 連 携	⑱ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	2	3	0	2		今後も支援の検証・改善につなげていけるよう、記録を確実にとっていく。
	⑲ 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	3	0	0	4		モニタリングを定期的実施し、支援計画を改善していく。
	⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	1	2	0	4		今後も児童を把握し、意見を述べられる者が参画していく。
	㉑ 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	0	1	0	6		各種関係機関との連携を図っていく。
	㉒ 医療的ケアが必要な子どもを受け入れている場合は、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	0	0	0	7		関係機関との連携は、難しいが、保護者を通して確実に支援を行っていく。
	㉓ 医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合は、子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	1	0	0	6		保護者との連携を密にし、共通理解の上対応できるようにしていく。
	㉔ 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	0	1	0	6		定期的に情報交換を図り、支援内容を確実にしていく。
㉕ 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	1	0	0	6		支援内容等の情報共有や相互理解を図っていく。	

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	質問・意見・今後の課題	アンケート結果をふまえた
							今後の目標
関係機関や保護者との連携	②6 他の児童発達支援事業所、児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	0	0	0	7		他の専門機関との連携は、児童理解と確実な支援につながることから、今後も連携を図っていく。
	②7 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	2	2	3		様々な子ども達と触れ合う機会を積極的につくっていく。
	②8 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	1	0	0	6		地域の協議会の機会があれば、参加していく。
	②9 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	3	1	0	3		送迎時を大切な機会と捉え、状況や課題等今後も伝え合っていく。
	③0 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	0	1	0	6		面談の機会を通して支援を実施していく。
保護者への説明責任等	③1 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	2	1	0	4		引き続き、分かりやすく説明していく。
	③2 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	3	0	0	4		面談時に、支援内容を丁寧に説明し、同意を得る。
	③3 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	3	0	0	4		保護者からの相談には、迅速な対応をしていく。
	③4 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0	0	1	6		会等の開催は、設けていないが、行事を通して、出会った保護者同士が交流できるよう促していく。
	③5 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	0	0	2		苦情があった場合には、本部へ「報告・連係・相談」をその日のうちに行い、迅速に対応していく。
	③6 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4	2	0	1		毎月事業所便りを発行し情報や子どもの活動の様子を伝えていく。
	③7 個人情報に十分注意しているか	7	0	0	0		最新の注意を払っていく。
	③8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	1	0	0		連絡ファイルや、保護者への連絡を通して情報を的確に発信していく。
	③9 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	0	1	6		地域住民に興味関心をもってもらえるような、取り組みを実施していく。
非常時の対応	④0 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5	1	0	1		保護者へは、契約時にそれぞれの対応について、周知していく。
	④1 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7	0	0	0		毎月、安全点検と年4回の訓練を実施していく。
	④2 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	7	0	0	0		保護者からの依頼や連絡を通して状況を確認し、職員全員に周知していく。
	④3 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	0	0	3		食物アレルギーには、最新の注意を払い職員がいつも目にする場所に掲示し、確認していく。
	④4 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	0	0	1		ヒヤリハットの事例を基に、ミーティングで共有し、事例のようにならないよう注意喚起を行っていく。
	④5 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4	1	0	2		職員に研修の場を設け、日頃の言動を振り返っていく。
	④6 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	4	0	0	3		契約時や面談時に丁寧に説明し、了承を得ていく。